



被爆・戦後80年を迎える中、 平和について考えよう！

ノーベル平和賞受賞！

日本原水爆被害者団体協議会
(日本被団協)

ノーベル平和賞受賞への背景

広島と長崎の原爆の生存者「ヒバクシャ」による草の根運動に取り組んできた日本被団協は、核兵器のない世界の実現を目指して尽力し、核兵器が二度と使われてはならないことを目撃証言を通じて身をもって示してきたことが評価され、ノーベル平和賞を受賞しました。



授賞式で演説をする日本被団協代表委員 田中熙巳さん

日本被団協の活動内容

日本被団協は、1956年8月に結成された、広島・長崎の被爆者でつくる全国組織です。長年にわたって国や自治体に援護施策の拡充を求める一方、国連軍縮特別総会や核不拡散条約(NPT)再検討会議といった国際会議に代表者を派遣。被爆体験の証言や原爆展の開催、署名活動などを通じ、世界に向けて核兵器廃絶や核実験禁止を訴える活動を続けてきました。

※詳しい活動内容などは日本被団協のHPをご覧ください。

ノーモア・ヒロシマ
ノーモア・ナガサキ
ノーモア・ウオー
ノーモア・ヒバクシャ



コープあおもりも平和活動に参加してきました！

ヒバクシャ国際署名の取り組み

被団協を中心とするネットワークにより、2016年から「ヒバクシャ国際署名」の取り組みが始まりました。2020年末までに、国内外で1,370万2,345人分の署名が集まりました。このうち286万2,297人分が生協を通して集められました。

コープあおもりも2017年を中心に取り組みを行い3万5,836筆集めることが出来ました。



2017年
ヒバクシャ国際署名の取り組み

原水爆禁止国民平和大行進

1954年にアメリカが太平洋のビキニ環礁で行った水爆実験により、日本の漁船「第五福竜丸」が被ばくしました。国民平和大行進は1986年原水爆禁止世界大会の開催と成功の世論を広げる行進として、全都道府県で取り組まれ、多くの県で市区町村の網の目行進を成功させ、1986年原水爆禁止世界大会をこれまでの積極的伝統を継承・発展させる歴史的大会として成功させる基盤をつくりました。



コープあおもりも 原水爆禁止国民平和大行進に 参加しています！

毎年6月初旬に開催されている国民平和大行進に各地域で参加しています。皆さんも平和を思い歩いてみませんか？



青森地域



八戸地域



弘前地域



五所川原地域



岩手県・秋田県への引き継ぎ集会



日本被団協と日本生協連の歩み

- 1980年代 被爆者援護法制定運動
- 1990年代 世界法廷運動 各国大使館へ協力要請
- 2000年代 「原爆と人間」パネルセットを世界の都市へ送る運動
- 2005年～ NPT再検討会議が開かれた国連本部のあるニューヨークへの代表団派遣
- 2016年～ ヒバクシャ国際署名の取り組み
- 2022年 NPT再検討会議代表団派遣

日本被団協と共に取り組んできました。

コープあおもりからもNPT再検討会議が開かれた国連本部のあるニューヨークへの代表団派遣に2010年、2015年に参加しています。派遣に向け各地域で折り鶴を折り届けました。

※2020年も参加予定でしたが新型コロナウイルスの影響で参加できませんでした。

